

節分



レジデンスなこそ

2月3日(水)夕食終了後、食堂にて災いをもたらす鬼を追い払う豆まきの行事について説明をした後、利用者と職員で豆まきをしました。寄付してもらった落花生とチョコレートを持って、各部屋に「鬼は外！福は内！」と大きな声を出して1年の無病息災を願ってまきました。時々職員を鬼に見立てて落花生を投げる利用者も見られ、大きな笑い声が聞かれました。まいた落花生等は直ぐに利用者には拾われ、皆自分の歳以上落花生とチョコレートを美味しく食べてました。

ちゃーむ

2月3日(水)節分の集いを行いました。ちゃーむのお友達みんなでプレイルームに集まり、節分のお話を聞いたり、節分の紙芝居を見たりしました。そこへ突然、子どもたちの前に鬼が現れると、すかさず鬼を囲み「鬼は外！福は内！」の掛け声とともに、一斉に豆を投げつけていました。子どもたちの威勢の良さに鬼は一目散に逃げ去りました。一人ひとりの心の鬼を追い出し、福がいっぱいの一年になるようにお祈りしました。



ふじみ更生園

2月3日(水)豆まきが行われました。数日前より「節分は?」「豆まきは?」などの言葉が園内を飛び交っていたこともあり、食堂に鬼が登場すると歓声があがりました。節分の由来が耳に入った人はわずかなようで、豆まきのことで頭がいっぱいのような様子でした。年男・年女の利用者・職員が居室をまわり豆をまくと、美味しく頬張り味を楽しんでいました。皆さんどんな鬼を追い出したのでしょうか。

ワークセンターしおさい

2月3日(水)しおさいにて、毎年恒例の節分が無事開催されました。何日も前から「鬼のお面準備した?」「鬼来るの?」と言う言葉が聞かれ、利用者みんながこの日を楽しみにしている様子が伺えました。

「鬼は外！福は内！」の掛け声と共に、元気に豆まきが行われました。全力で豆を投げる人もいれば控えめにそっと豆をまく人、鬼のお面を被り鬼役に徹する人等、それぞれの形で節分を楽しむ事が出来ました。

例年以上に盛り上がったしおさいの豆まき。2010年は、沢山の「福」がしおさいに舞い込む様、また自分達の力で「福」をしおさいに呼び込むよう頑張ろう、そう誓った2月の一日でした。

▶▶▶ 初釜 ～日本の伝統文化・和の心に触れて～ やしおみ荘

1月6日(水)初釜を行いました。当施設では月に一度、お茶サークルの活動を行っています。吉田文字先生のご指



導の下、お茶の作法を学ぶ中で、和の心に触れることのできる活動の時間を、サークルメンバーを始め、利用者の皆さんは楽しみにされています。初釜は、活動の成果が披露できるとあって「ここは腕の見せどころ！」と気合を入れて、この日を迎えました。参加した利用者はいつもと違う雰囲気緊張してしまい、お茶の作法の方法を間違えてしまう方もいらっしゃいました。しかし、先生から作法を教えて頂きながら進めると、いつの間にか緊張も少しずつ和らぎ、余裕も見られてきました。毎年恒例となった年の始めの「初釜」に、皆さん笑顔も見られていました。「いただきます」「ごちそうさまでした」と丁寧に挨拶をすることができ、今年初めの行事を無事に終えることができました。

▶▶▶ カラオケ大会 虹のかけはし

2月11日(木)建国記念日。「この日がカラオケ大会だね」と、普段からカレンダーを見ながら、指折り数えたカラオケ大会が、カラオケまねきねこにて開催されました。午前中は作業に励み、その後外食も兼ねての会となりました。

カラオケルームに移動するや否や直ぐに曲を入れる利用者の姿もあり、この日を心待ちにしていた気持ちが伝わってきました。会が進むにつれ、大盛り上がり。椅子の上に立って思いっきり歌う利用者やタンバリンで合の手を入れる利用者、ダンスをする利用者の姿も見られ、それぞれが思い思いの時間を過ごす事が出来ました。また、「絶対歌わない」と歌う事に躊躇していた利用者も、次第に他利用者とのデュエットをする事も見られ、友情が人の心を動かす瞬間を目の当たりにしました。

少々歌い足りない様子も見られましたが、それは来年のお楽しみ。日頃の作業の疲れを癒すだけでなく、利用者・職員共々交流を深める素敵な会となりました。

